



令和8年度 文京区立第六中学校 学校経営グランドデザイン

学校教育目標

- 責任を重んじる
- 学習に励む
- 健康なからだをつくる
- 美しい生活を求める

基本理念

「教育は人なり」
 「環境が人をつくる、その環境は人がつくる」
 教師は、生徒にとって一番身近な学ぶモデルであり、生き方の見本ともなるべき存在である。教師は教えるという立場から、共に学び続ける主体であるという姿勢が何よりの教育である。そのため常に率先垂範を心がけ、生徒への深い愛情と教育への使命感をもち、高度専門職として学び続ける教師こそが生徒の良さを引出し、伸ばすことができる。教師と生徒の節度ある関係を築き、あいさつの飛び交う明るく規律ある学校風土の下で、清掃活動や掲示物の整備・充実等の環境美化に努め、清潔で潤いのある落ち着いた学習環境をつくっていく。

目指す学校像

自主平等の精神をもって、自主創造の気風を目指す学校
 ~全ての生徒、保護者が「六中に通って良かった!」という満足感に満ちあふれた学校を創造する~

求める教師の姿

- 教育に対する熱意と使命感をもち、高度専門職として学び続ける教師
- 豊かな人間性と思いやりのある教師
- 六中生のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師
- 組織人として積極的に協働し互いに高め合う教師

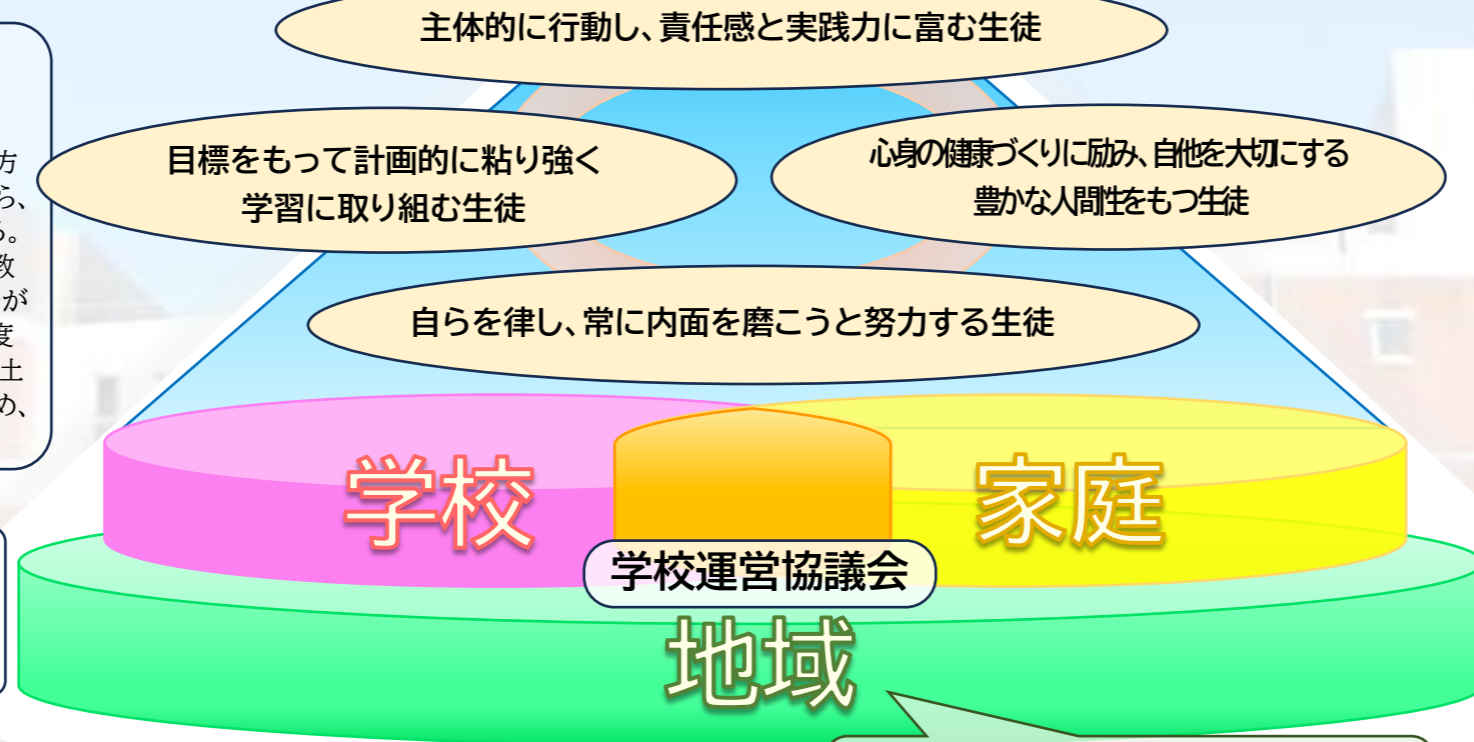
チャレンジする力 自らを高める力 創造力

【目指す生徒像】人間性豊かで未来をたくましく切り拓く生徒の育成

◎文京区教育ビジョン「個が輝き共に生きる文京の教育」

- ◎文京区教育委員会の教育目標
 - ・心身ともに健やかで、自他を尊重し、人間性豊かにたくましく生きる人
 - ・自ら学び考え、表現し行動する人
 - ・社会の一員として広い視野をもち、日本の将来を担う人
 - ・地域を愛し、共に生きる社会を築く人

- ◎文京区教育委員会教育指針
 - 視点1 持続可能な社会を見据えた新しい未来の創り手の育成
 - 視点2 学校教育における知・徳・体のバランスのとれた力の育成
 - 視点3 地域ぐるみで子どもの教育に取り組むための連携・協働
 - 視点4 子どもの学びを保障する教育環境



信頼される学校づくり

- ① コミュニティ・スクールとして、地域から愛され誇りに思われる学校づくりを推進します。地域学校協働本部、同窓会、PTA、保・幼・小各園各校と連携した諸活動のさらなる推進を図ります。
- ② 「不易と流行」を基本とし、これまでの第六中学校の歴史と伝統を大切にしながら、時代の変化に合わせて更なる発展を目指します。
- ③ 充実した学校施設や設備を活用し、教育活動の質の向上に努めるとともに、常に安全・安心を最優先した教育活動に向けて学校環境整備を徹底します。
- ④ 教職員が常に生徒へ寄り添う姿勢で対応するとともに、きめ細かな情報連携と迅速な行動連携を通して、「いじめ」や「非遵行為」を許さない集団づくりを徹底することで、誰からも信頼される学校づくりを推進します。
- ⑤ 教職員のライフ・ワーク・バランスを推進するとともに、教育公務員としてのサービスの厳正を図り、サービス事故ゼロを継続します。
- ⑥ 学校だよりや学年だより、学校ホームページなどによる積極的な情報発信を推進します。
- ⑦ 特別支援教育 生徒、保護者との対話を重視するとともに、個別指導計画や教育支援計画を活用した指導及び関係機関との連携、教育環境のUD化を推進します。また、アドバンスルーム巡回教員や特別支援教育担当指導員との連携を強化するとともに、特別支援教育コーディネーターを中心として組織的にきめ細かな支援を行います。

コミュニティ・スクールである
六中と共に子供を育む地域

知 確かな学力

- ① 生徒自ら課題を見つけ主体的に考えさせる授業や他者と学びあい協力して課題解決する対話的な授業等、ICT を利活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善を図り、探究的な学びを充実させます。
- ② 生徒の視点に立った「よく分かる授業」の実践を通して、学びに向かう意欲を高めるとともに、習熟度等の個に応じた学習支援をきめ細かにを行い、生きて働く「基礎・基本」の確実な定着を図ります。
- ③ 互いに切磋琢磨しようとする望ましい学習環境づくりに努めるとともに、言語活動や話し合い活動を活性化して探究的かつ協働的な学習に積極的に取り組み、未知の状況でも対応できる「思考力・判断力・表現力」の伸長を図ります。
- ④ 社会参画に向けたキャリア・アントレプレナーシップ教育、タブレット端末の活用を含めた自律的な家庭学習、六中応援塾や夏季チャレンジプログラム等多様な学びのさらなる充実により、学んだことを主体的に生かして自らを高めようとする「学びに向かう力」の育成を図ります。

徳 豊かな心

- ① 同僚性や凝集性の涵養を重視した学年・学級経営を基盤とし、あいさつの推進と規範意識の醸成により、互いに認め合い、支え合い、高め合うことのできる望ましい集団づくりの実現を目指します。
- ② 体験・協働活動を重視し、行事等への取組を通して協力・信頼・団結の精神をもって主体的に行動し、責任感と実践力に富む生徒の育成を図ります。
- ③ きめ細かな声掛けと見守りを励行し、生徒が安心して自分の良さを発揮し互いに響き合える環境づくりを目指すとともに、自らを律し、常に内面を磨こうとする生徒の育成を図ります。
- ④ 生徒理解に基づく共感的な指導を徹底し、道徳科の授業を充実させ、生命や人権を尊重し、優しさと思いやりの心をもって互いの個性を尊重し合い、高め合うことのできる集団づくりを推進します。
- ⑤ JRC 活動の推進、生徒主体のプロジェクトを中心とした生徒会活動のさらなる活性化により自治的活動の推進を図り、「規律ある自由」を目指して能動的に集団生活の向上や社会貢献に努める態度の育成を図ります。

体 健やかな体

- ① 体力テストの結果を踏まえた保健体育の授業や部活動等を通して、積極的に運動に親しみ主体的・計画的に体力・健康づくりに励み、自他を大切にしようとする豊かな人間性をもつ生徒の育成を推進します。
- ② 「健康講話」や「食に関する活動」などの特色のある取組や保健委員会の活動を通して、健康の重要性を自覚して主体的に健康づくりに向かう態度の育成を図ります。
- ③ オリンピック・パラリンピックの価値を踏まえた「学校 2020 レガシー」の取組を継承し、努力することの大切さやあきらめない心、公平な態度、ボランティア精神等の育成に努めるとともに、グローバル化や持続可能な社会の実現に資する意識の涵養を推進します。
- ④ 安全指導、避難訓練、防災訓練等の計画的な実施を通して、自他の身を守ろうとする望ましい安全意識と危機の回避に資する適切な判断力・実践力の育成を図ります。

【主体的・対話的で深い学びの視点】基礎的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力の育成、主体的に学習に取り組む態度を養うことで、生涯にわたって学習する基盤を育みます。

<基盤となる考え方> ○生徒が安心して自分の良さを発揮できる環境づくり ○生徒が互いにその良さや多様性を認め合い、支え合い、高め合うことのできる仲間づくり ○社会的包摂による共生社会の実現に向けて、互いの個性を尊重し合える集団づくり